



久世中だより

《至 誠》

真庭市立久世中学校

令和7年度 第10号

令和8年1月9日発行

「新年明けましておめでとうございます！」



輝かしい新春をお迎えのことと存じます。登校してきた生徒たちの表情には、それぞれに新たなスタートラインに立つ意気込みをうかがえました。保護者・地域の皆様には、本年も引き続きまして、心強いパートナーとして学校を支えてくださいますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。以下は、始業式で生徒に伝えた内容です。

〈始業式 校長メッセージ〉

新たな年を迎え、今年は、こんな年にしたい、こんなことにチャレンジしたい、あんな風になってみたいなど、「やってみたい」、「なりたい自分」へ、それぞれに「想い」をアップデートしていることと思います。

「目標なくして、努力なし、努力なくして、成果なし、成果なくして、喜びなし」と言われますが、物事を始めるにあたり、「何のために」するのかという「目的」と、「それを実行する熱量」が、事がうまくいくかどうかを大きく左右します。「熱い思い」は、「確かな行動」となって、「納得の結果」へとつながっていきます。その源は、何といても「やる気があること」と「元気であること」のメンタルとフィジカルの両立です。今年度のゴールに向けて、何より心と体の健康、バランスのいい状態を保つよう心がけてください。

さて、3学期は、「まとめ、しめくくりの学期」であることは言うまでもありませんが、単なる「終わり」の学期と捉えるのではなく、次への準備、新年度へつなぐ期間だと捉えてください。そういう意味で、3学期は、新たなフェーズへの助走・準備の期間として、「ゼロ学期」とも言われます。

1年生の皆さんは、やがて新入生を迎え、先輩となり、模範を示す、頼りになる中堅学年へとなれるように

2年生の皆さんは、久世中の代表としての自覚と行動を兼ね備えた、「さすが！」と思わせる最高学年へとなれるように

3年生の皆さんは、義務教育の出口の姿を後輩たちに示し、自ら決めて進む、決意の道へ、堂々と晴れや

かに踏み出せるように

皆さんそれぞれが、2026年を意気軒昂で歩めるよう、心から期待しています。

新年にあたり、次の2つのことを皆さんに強く望みます。1つ目は、「決して、できない理由をさがすのではなく、どうすればできるかを考え、果敢に挑戦すること」、2つ目は、「たとえいかなる結果であろうとも、決して、人のせいにしないこと」。この2つは、「自律」の大事な要素で、挑戦をあきらめてしまえば、何も得られるものではありません。人のせいにしてしまえば、そこで成長は止まります。

今学期も、明るい方に向いて、建設的に、ポジティブに、それぞれの夢の実現へのプロセスを粘り強く歩んでください。

英語に、「No pain, no gain!」という言葉があります。「痛み・苦勞がなければ、得るものはない」という意味ですが、逆に言えば、「挑戦も努力もせずに得られるものには、大した価値はない」ということです。敢えて、皆さんにとって、唯一「後悔」と呼べるのは、「全く何もなかった」ということで、「No challenge, no change!」となってしまいます。

今日からの約2ヶ月半、寒さにも苦難にも負けず、強く信念を持って、それぞれの目標へ、粘り強く努力を続け、最高の3学期、「新年度への橋渡し」にしましょう！

【第75回「社会を明るくする運動」作文コンテスト】

12月17日に、真庭地区保護司会より次の表彰を受けました。おめでとうございます。（敬称略）

《岡山県更生保護協会理事長賞》 山下花楓（2年）

【第57回岡山県アンサンブルコンテスト】

12月25日に倉敷芸文館を会場に「中学校の部」が開催され、吹奏楽部のチームが、以下の賞を受賞しました。おめでとうございます。

《銀賞》 ◇ 管楽七重奏

【生徒・保護者アンケート結果概要】

2学期末に行った学校生活に関する生徒アンケート



の結果についての概要をお知らせします。

生徒アンケート調査12月期では、全30項目中、20項目で肯定群が90%以上を上回っています。特に、モチベーションをアップする『自己有用感・有能感・自尊感情』につながる「自分にはよいところがある」の項目は、積極的肯定群においても1学期末調査より5ポイントの上昇が見られました。学校教育目標のキーワード「自律」への土台と位置づけており、「自分の頭で考え、自分の言葉で語り、自分の判断で行動している」の項目との相関があり、両項目とも肯定群では、90%を上回りました。また、「学習がおもしろいと感じたことがある」の項目では、積極的肯定群が5ポイント強の上昇が見られた一方で、「平日の授業以外の学習時間は、1時間以上」については、3年生は、3ポイント、2年生で5ポイント上昇していますが、1年生で26ポイントの大幅な降下が見られ、全体では58.9%にとどまっている状況です。「土日や休日の1時間以上の学習時間」については、8ポイント上昇し、62.5%となっていますが、生徒の「～したい!」を生み出す「ヤマ場」づくりの授業改善に不断に努めることはもちろんのこと、家庭学習におけるデジタルコンテンツの有効活用(約7ポイント上昇し、42.9%)を一層推進する必要を感じています。

また、保護者アンケートでは、全15項目中、10項目で肯定群が80%を上回っています。他方、最も低かった項目は、「テレビ・ゲーム・スマホをする時間の約束を作って、実行できている」で36.8%でした。特に、SNSによるトラブル事案は、地域性に関係なく喫緊の課題であり、賢く上手に使うための指導、啓発等はもちろんのことですが、「自律」におけるご家庭での粘り強い取組・協力は、必要不可欠であります。

生徒を真ん中に、家庭・学校・地域の三者が協働して、育ちと学びを支えていくことは必須で、それぞれが果たすべき役割は大きいと考えています。授業を中心としたあらゆる教育活動に、①自己決定の場、②自己肯定感が実感できる場、③共感的人間関係が構築できる場、④心理的安全性の中で、自己表現ができる場を溶け込ませていかなければならないと改めて強く感じています。引き続き、保護者の皆様及び地域の方々のご理解とご支援を受けながら、命に関わること以外は、トライアル&エラーを重ねながら、教育活動の質と精度の向上に邁進し、義務教育の輝かしい出口に向けて、教職員自身も含め、アップデートとアップグレードを図っていくことが、良質な学校教育の持続可能

性を担保する一丁目一番地であると考えています。

なお、個別にお寄せいただきましたご意見並びにご感想につきましては、教職員一同、真摯に受け止め、今後の教育活動のより一層の充実に生かすべく鋭意努力して参ります。繰り返しになりますが、学校がすべきこと、家庭がすべきこと、地域が関わるべきことの分担と責務を果たすべく、この三者によるトライアングルの中で、子どもの育ちと学びは担保されます。

今後も生徒を主語にした教育活動の一層の充実を目指し、研鑽と努力を重ねる所存ですので、引き続きまして、温かいご理解並びに力強いご支援を、改めましてどうぞよろしくお願いいたします。



2月行事予定

日	曜	学校行事等	PTA関係	SC	給食	部活	下校
1	日						
2	月				○	○	17:00
3	火				○	○	17:00
4	水	県立特別入試 1・2年実力テスト			1・2年 ○	×	15:05
5	木	県立特別入試			1・2年 ○	○	17:00
6	金	入学説明会			○	×	14:40
7	土						
8	日						
9	月				○	○	17:00
10	火				○	○	17:00
11	水	建国記念の日					
12	木		地区委員会		○	○	17:00
13	金	県立特別入試合格内定発表		○	○	○	17:00
14	土						
15	日						
16	月				○	○	17:00
17	火				○	○	17:00
18	水	職員会議			○	×	15:05
19	木	質問教室 学校運営協議会 真庭「私の主張発表会」(勝山文化C)	総務委員会		○	×	17:00
20	金	質問教室 進路事務		○	○	×	17:00 15:00
21	土						
22	日						
23	月	天皇誕生日					
24	火	専代会			○	×	17:00
25	水	校内研修			○	×	15:05
26	木	1・2年学年末テスト			○	×	14:00
27	金	1・2年学年末テスト		○	○	×	14:00
28	土						